

カリキュラム・マップ

観光学部教育目的
観光関連分野に関する広範囲で高度な学識を持ち、諸問題の解決を担う総合的な判断力と優れたリーダーシップを備えた有為な人材を養成する。

学修成果
<p><学部全体></p> <p>1) 観光学全般にわたって基礎的な知識を持ち、特定の分野で論理的な分析ができる。(「2.専門性」と関連)</p> <p>2) 異文化交流としての観光の意義について理解し、実際に異文化交流を実践できる。(「3.自己を理解し発展させる力」「5.他者を理解する姿勢」「8.国際性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>3) 現実の諸問題を解決するための総合的な判断力を持つ。(「1.リベラルアーツの素養」「3.自己を理解し発展させる力」「4.キャリア展望を確立する力」と関連)</p> <p>4) 現実の状況に対応して適切なリーダーシップを発揮できる。(「6.表現力」「7.リーダーシップ」と関連)</p> <p>5) 特に観光学の卒業生は、「観光産業の経営」および「地域の計画」について専門的な知識と分析能力を持つ。(「2.専門性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>6) 特に交流文化学科の卒業生は、「異文化交流」および「地域の計画」について専門的な知識と分析能力を持つ。(「2.専門性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>※()内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載</p>

観光学部交流文化学科(課程)のカリキュラム				観光学部交流文化学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	6) 「異文化交流」または「地域の計画」
観光学概論	必修 専門必修科目	1	観光学の基礎と多面性を理論と具体例から理解し、専門的な学習の土台を作る。	◎	○	○		○
基礎演習	選択 学科選択科目1	1	プレゼンテーションやディスカッションなどを通して、必修科目「観光学概論」で学修する理論やキーワード、観光現象などに対する理解を深める。	◎	○	○	○	○
観光人文学概論	選択 学科選択科目1	1	移動や文化交流にかかわる文学や理論の基礎を理解する。	◎	◎			○
観光社会学概論	選択 学科選択科目1	1	観光を社会的に研究するための基礎的な考え方や手法を習得する。	◎	◎			○
観光人類学概論	選択 学科選択科目1	1	自分と他者との繋がりや関係を想像するための視点を養う学問としての文化人類学の基礎的な考え方や手法を、観光を事例として理解する。	◎	◎			○
観光地理学概論	選択 学科選択科目1	1	文化伝播や地域形成、文化生態、文化景観などの地理学の基礎的な概念や考え方を習得する。	◎	◎			○
観光文学概論	選択 学科選択科目1	1	観光に関連する様々な文学作品を通して、テキストを読み解くための基礎的な手法や理論を習得する。	◎	◎			○
観光歴史学概論	選択 学科選択科目1	1	近世から現代にかけての観光の変遷を概観するとともに、観光を歴史的に研究するための基礎的な考え方や手法を習得する。	◎	◎			○
観光社会学1(都市)	選択 学科選択科目2	2	社会学の理論と方法にもとづいて観光と都市のかかわりを理解する。	△	◎	○		○
観光社会学2(移動)	選択 学科選択科目2	2	社会学の理論と方法にもとづいて観光と移動のかかわりを理解する。	△	◎	○		○
観光社会学3(ジェンダー)	選択 学科選択科目2	2	社会学の理論と方法にもとづいて観光とジェンダーのかかわりを理解する。	△	◎	○		○
観光社会学4(文化)	選択 学科選択科目2	2	社会学の理論と方法にもとづいて観光と文化のかかわりを理解する。	△	◎	○		○
観光社会学5(メディア)	選択 学科選択科目2	2	社会学の理論と方法にもとづいて観光とメディアのかかわりを理解する。	△	◎	○		○
観光社会学6(若者)	選択 学科選択科目2	2	社会学の理論と方法にもとづいて観光と若者文化のかかわりを理解する。	△	◎	○		○
観光社会学7(文化遺産)	選択 学科選択科目2	2	社会学の理論と方法にもとづいて観光と文化遺産のかかわりを理解する。	△	◎	○		○
観光人類学1(文化の表象)	選択 学科選択科目2	2	観光にまつわる社会・文化現象の中でも、特に表象の問題について、文化人類学の視点から総合的に、また、当事者たちに寄り添って考えようとする姿勢を身につける。	△	◎	○		○
観光人類学2(エスニシティ)	選択 学科選択科目2	2	民族文化の展示やエスニックツーリズムの可能性と課題について、観光人類学の視点から考え、理解する。	△	◎	○		○
観光人類学3(民俗)	選択 学科選択科目2	2	民俗学の視点やトピックの学習を通じ、観光とヴァナキュラー(土着の、日常的な)文化の関係を考察し、観光人類学についての更なる理解を深める。	△	◎	○		○
観光人類学4(宗教)	選択 学科選択科目2	2	観光を宗教人類学の視点から考察することにより、観光と宗教との関係に対する理解を深める。	△	◎	○		○
観光人類学5(グローバル化)	選択 学科選択科目2	2	グローバル化が進む現代における人の移動、社会の多様性、文化・技術・資本のハイブリッドな状況を、文化人類学的な視点で理解する。	△	◎	○		○
観光人類学6(コミュニティ)	選択 学科選択科目2	2	観光という文脈の中でコミュニティや社会関係が生成・変化する過程を文化人類学的な視点から理解する。	△	◎	○		○

観光学部交流文化学科(課程)のカリキュラム				観光学部交流文化学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	6) 「異文化交流」または「地域の計画」
観光人類学7(開発援助)	選択 学科選択科目2	2	開発人類学の視点で国際的な観光・開発における国際機関やNGOの役割、援助実践を学ぶとともに、援助する側・される側、先進国・途上国等の既存のカテゴリーを相対化する姿勢を身につける。	△	◎	○		○
観光人類学8(生態)	選択 学科選択科目2	2	観光を生態人類学の観点から考察することにより、観光と環境・資源・生業との関係に対する理解を深める。	△	◎	○		○
観光地理学1(都市)	選択 学科選択科目2	2	地域と景観に着目し、人の移動と観光現象を空間的な視点から応用・研究できる能力を培う。	△	◎	○		○
観光地理学2(農村)	選択 学科選択科目2	2	農村における多様な資源の観光的利用や資源間の連関、および観光者の動機や行動を理解する。	△	◎	○		○
観光地理学3(リゾート地)	選択 学科選択科目2	2	リゾート地に関する地理学的な地域モデルとその国内外の適用事例を学び、その知識を応用する力を身につける。	△	◎	○		○
観光地理学4(文化)	選択 学科選択科目2	2	文化の景観的、生態的側面に着目し地理学的に考察し、理解する。	△	◎	○		○
観光地理学5(自然環境)	選択 学科選択科目2	2	観光にとって不可欠な資源である日本各地・世界各地の多様な自然環境について、その成立・維持の背景を理解し、観光資源としての価値と資源利用上の留意点について知識を得る。	△	◎	○		○
観光地理学6(日本地誌)	選択 学科選択科目2	2	日本地誌を通して、国土構造のあり方に関心を払いながら、現実に行き起きている多様な現象への認識を深め、考えることができるようにする。	△	◎	○		○
観光地理学7(外国地誌1)	選択 学科選択科目2	2	ヨーロッパの地誌を学ぶための基礎的な知識を習得する。	△	◎	○		○
観光地理学8(外国地誌2)	選択 学科選択科目2	2	アメリカの地誌を学ぶための基礎的な知識を習得する。	△	◎	○		○
観光地理学9(外国地誌3)	選択 学科選択科目2	2	アジアの地誌を学ぶための基礎的な知識を習得する。	△	◎	○		○
観光地理学10(外国地誌4)	選択 学科選択科目2	2	世界の地誌を学ぶための基礎的な知識を習得する。	△	◎	○		○
観光文学1(移動)	選択 学科選択科目2	2	移動や文化の交流にかかわる文学作品、関連事象を、講義、講読によって読み解き、理解する。	△	◎	○		○
観光文学2(SF)	選択 学科選択科目2	2	西欧の空想旅行記の読解を通じて、近代的な旅の根底に潜む欲望、それを可能にする社会的システムを分析し、理解する。	△	◎	○		○
観光文学3(紀行文)	選択 学科選択科目2	2	旅はどのように言語化されてきたのか、また名所に関していかなる書物が制作・享受されたのかについて理解する。	△	◎	○		○
観光文学4(トラベルライティング)	選択 学科選択科目2	2	旅行経験を表現し、読者と共有可能にするためにはどのような書き方をすれば効果的なのか、実践を通して学ぶ。	△	◎	○		○
観光文学5(思想)	選択 学科選択科目2	2	観光における楽しみが、旅行中よりも事後の言語化によってこそ生成される過程を、旅行経験の記述や談話から分析する方法を習得する。	△	◎	○		○
観光歴史学1(近世)	選択 学科選択科目2	2	近世日本および西洋社会における旅や観光の変遷とその背景を、歴史学の視点から理解する。	△	◎	○		○
観光歴史学2(近代)	選択 学科選択科目2	2	近代日本および西洋社会における旅や観光の変遷とその背景を、歴史学の視点から理解する。	△	◎	○		○
観光歴史学3(現代)	選択 学科選択科目2	2	現代日本および西洋社会における旅や観光の変遷とその背景を、歴史学の視点から理解する。	△	◎	○		○
観光学講義	選択 学科選択科目2	2	観光学における先端的な理論や現象について理解する。		◎	○		○
文献講読	選択 学科選択科目2	2	観光学に関する重要文献の講読をとおり、文献読解能力や論理的思考能力を高める。		◎	○		○
フィールドワーク論	選択 学科選択科目2	2	フィールドワークの理論と方法を習得し、質的社会調査への理解を深める。	△	◎	○		○
観光と文化1(芸術)	選択 学科選択科目3	3	芸術をテーマとして、観光と文化のかかわりについて理解を深める。		◎	○		○
観光と文化2(メディア)	選択 学科選択科目3	3	メディアをテーマとして、観光と文化のかかわりについて理解を深める。		◎	○		○
観光と文化3(ポップカルチャー)	選択 学科選択科目3	3	ポップカルチャーをテーマとして、観光と文化のかかわりについて理解を深める。		◎	○		○
観光と文化4(スポーツ)	選択 学科選択科目3	3	スポーツをテーマとして、観光と文化のかかわりについて理解を深める。		◎	○		○
観光と文化5(食)	選択 学科選択科目3	3	食をテーマとして、観光と文化のかかわりについて理解を深める。		◎	○		○
観光と文化6(風景)	選択 学科選択科目3	3	風景をテーマとして、観光と文化のかかわりについて理解を深める。		◎	○		○
観光と文化7(産業)	選択 学科選択科目3	3	産業をテーマとして、観光と文化のかかわりについて理解を深める。		◎	○		○
観光と社会1(移動)	選択 学科選択科目3	3	移動をテーマとして、観光と社会のかかわりについて理解を深める。		◎	○	○	○

観光学部交流文化学科(課程)のカリキュラム				観光学部交流文化学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	6) 「異文化交流」または「地域の計画」
観光と社会2(交通)	選択 学科選択科目3	3	交通をテーマとして、観光と社会のかかわりについて理解を深める。		◎	○	○	○
観光と社会3(政策)	選択 学科選択科目3	3	政策をテーマとして、観光と社会のかかわりについて理解を深める。		◎	○	○	○
観光と社会4(医療)	選択 学科選択科目3	3	医療をテーマとして、観光と社会のかかわりについて理解を深める。		◎	○	○	○
観光と社会5(環境)	選択 学科選択科目3	3	環境をテーマとして、観光と社会のかかわりについて理解を深める。		◎	○	○	○
観光と社会6(国際関係)	選択 学科選択科目3	3	国際関係をテーマとして、観光と社会のかかわりについて理解を深める。		◎	○	○	○
観光と社会7(国際協力)	選択 学科選択科目3	3	国際協力をテーマとして、観光と社会のかかわりについて理解を深める。		◎	○	○	○
グローバル・スタディ・プログラム1	自由 学部自由科目	1	約2週間学部協定校に滞在し、各言語の基礎と渡航先の社会・文化を体験的に学ぶ。協定校学生と交流し、コミュニケーション能力を向上させる。	○	◎	○	○	◎
グローバル・スタディ・プログラム2	自由 学部自由科目	1	約2週間学部協定校に滞在し、英語で観光の専門授業やフィールド・トリップを体験する。協定校学生と交流し、コミュニケーション能力を向上させる。	○	◎	○	○	○
Introduction to Tourism 1	自由 学部自由科目	1	観光に関する英語の資料を使用したりサーチに必要な基本知識や技術を学ぶ。	○	◎	○	○	○
Introduction to Tourism 2	自由 学部自由科目	1	Introduction to Tourism 1で学んだ知識と技術を確実に活用し、英語による資料作成や発表を訓練する。	○	◎	○	○	○
Tourism Study 1 (Business)	自由 学部自由科目	2	英語で世界の観光事情(ビジネス)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○		○
Tourism Study 2 (Society)	自由 学部自由科目	2	英語で世界の観光事情(社会)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○		◎
Tourism Study 3 (Destination)	自由 学部自由科目	2	英語で世界の観光事情(観光地)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○		○
Tourism Study 4 (Culture)	自由 学部自由科目	2	英語で世界の観光事情(文化)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○		◎
Current Trends in Tourism 1	自由 学部自由科目	3	観光に関連する最新トレンドに関して調べ(英語&日本語資料)、英語でディスカッションする。	○	◎	◎	○	○
Current Trends in Tourism 2	自由 学部自由科目	3	観光に関連する最新トレンドに関して調べ(英語&日本語資料)、英語でディスカッションする。	○	◎	◎	○	○
観光特論(RT)	自由 学部自由科目	2	観光学に関する学外の専門家から、観光研究や観光実践の最先端を学ぶ。		○	◎		◎
観光特論(TSE)	自由 学部自由科目	2	観光学に関する学外の専門家から、観光研究や観光実践の最先端を学ぶ。		○	◎		◎
演習(2年)A	自由 学部自由科目	2	異文化交流としての観光ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を身につける。	○	◎	◎	◎	

観光学部交流文化学科(課程)のカリキュラム				観光学部交流文化学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	6) 「異文化交流」または「地域の計画」
演習(2年)B	自由学部自由科目	2	異文化交流としての観光ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を身につける。	○	◎	◎	◎	
演習(3年)A	自由学部自由科目	3	異文化交流としての観光ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を身につける。	○	◎	◎	◎	
演習(3年)B	自由学部自由科目	3	異文化交流としての観光ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を身につける。	○	◎	◎	◎	
卒業研究指導A	自由学部自由科目	4	大学における学修の集大成として、自らが設定した研究の内容を深める。	○	◎	◎	◎	
卒業研究指導B	自由学部自由科目	4	大学における学修の集大成として、自らが設定した研究の内容を深める。	○	◎	◎	◎	
卒業論文	自由学部自由科目	4	卒業論文及びそのベースとなる研究の課題設定、方法、文章表現、口頭発表等について、知識やスキルの向上を図る。	○	○	○	○	○
観光インターンシップ	自由学部自由科目	3	観光関連の業種(行政や観光協会・宿泊業等)の理解と実習を通して、観光関連の仕事に対する理解を深め、また観光学部で学ぶ知識との関連性を理解することで、観光学部で学ぶ動機を高める。			○	◎	
長期海外インターンシップ	自由学部自由科目	2	海外企業での就業体験を通じて実践的に観光学を学び、理論の応用、自主性、問題解決力、異文化コミュニケーション力を身につける		○	◎	◎	◎
経団連インターンシップ	自由学部自由科目	3	観光事業及び関連事業分野を念頭に、企業での実習やそれに先立つ学内事前研修を行い、実社会への理解とキャリアに関する意識を深める。			○	○	◎
観光ビジネス概論	自由学部自由科目	2	日本の観光関連産業の現状や課題を学ぶことを通して、観光関連産業の多様性とそこで働くことの意義について理解する。自らが希望する業種・業態の観光産業における位置づけを理解する。	○		◎	◎	
交通産業特論	自由学部自由科目	3	観光産業において重要な役割を果たす交通産業の現状と課題について理解を深め、観光産業の実践的業務知識について習得する。	○		○		
観光地づくり	自由学部自由科目	3	わが国の旅行・観光の実態から国内観光の基礎的な課題や今後のイノベーションの方向について理解する。	○		◎	○	○
観光IT戦略論	自由学部自由科目	2	観光学部の学生が知っておくべきITの最前線を理解し、ITを活用した観光分野のイノベーションを考える。	○		○		
データ情報処理	自由関連基礎科目	1	社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく方法を習得する。加えて、社会調査にかかわるパソコンスキルも習得する。			◎		
法学1	自由関連基礎科目	1	国の最高法規である憲法について理解する。			○		○
法学2	自由関連基礎科目	1	民法を中心に権利擁護制度について理解する。			○		○
政治学	自由関連基礎科目	1	政治学の基礎について理解する。			○		○
経済学	自由関連基礎科目	1	日常生活における人間の行動と世の中の幸せを理解するのに役立つ経済学的な考え方を身につける。			○		○
経営学	自由関連基礎科目	1	企業経営を理論的に解明することを目的とする学問である経営学の学問的な基礎を押しえつつ、実際のビジネスについて理解する。			○		○
社会学1	自由関連基礎科目	1	社会学の基礎について理解する。			○		○
社会学2	自由関連基礎科目	1	社会学の基礎について理解する。			○		○
心理学1	自由関連基礎科目	1	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から理解する。			○		○
心理学2	自由関連基礎科目	1	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について理解する。			○		○
地理学1	自由関連基礎科目	1	日本列島における地形・水文・気候といった自然環境と、そこで生活する人々との関わりを理解する。			○		○
地理学2	自由関連基礎科目	1	GIS・リモートセンシングなどの基礎となっている地理情報科学について、その歴史や原理、地理学への応用を理解する。			○		○
日本史1	自由関連基礎科目	1	19世紀後半～20世紀初頭における日本近代史を近代国家建設の過程や国際関係を中心に概観しながら、戦前の国家体制について理解する。			○		○
日本史2	自由関連基礎科目	1	1930年代以降の日本近現代史につき、政治外交史を中心に概観し、なぜ、日本が戦争の道を突き進んでいったのかを理解する。			○		○
外国史1	自由関連基礎科目	1	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解する。			○		○
外国史2	自由関連基礎科目	1	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解する。			○		○
地誌学	自由関連基礎科目	1	日本地誌を通して、国土構造のあり方に関心を払いながら、現実にかき起している多様な現象への認識を深め、考えることができるようにする。			○		○
生涯学習概論1	自由関連基礎科目	1	生涯学習概念を社会教育との関連で把握し、多様な学修機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に理解する。			○		○

観光学部交流文化学科(課程)のカリキュラム				観光学部交流文化学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	6) 「異文化交流」または「地域の計画」
生涯学習概論2	自由 関連基礎科目	1	生涯学修概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学修を具体的に理解する。			○		○
生涯学習支援論1	自由 関連基礎科目	1	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。	○		○	○	
生涯学習支援論2	自由 関連基礎科目	1	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。	○		○	○	
社会教育経営論1	自由 関連基礎科目	1	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。	○		○	○	
社会教育経営論2	自由 関連基礎科目	1	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。	○		○	○	
自然地理学	自由 関連基礎科目	1	自然地理学の本質的な点、重要な方法論と調査技術を使って、世界の環境の基礎知識を身につける。			○		○
文学	自由 関連基礎科目	1	言語表現による芸術作品の鑑賞の仕方を身につける。	○	○			
哲学	自由 関連基礎科目	1	問題の発見や諸概念の明確化、命題の関係の整理といった概念的思考を通じて多様な主題について検討する能力を養う。	○	○			
人類学	自由 関連基礎科目	1	人類学に関する基礎と研究領域、研究手法について理解する。	○	○			
美学	自由 関連基礎科目	1	美の基準、美はなんのためにあるのかという美の価値を問う能力を養う。	○	○		○	
民法	自由 関連基礎科目	1	個人間の財産上・身分上の関係など、市民相互の関係について民法を通して理解する。	○	○	○	○	